

### 第3章 医療施設調査・病院報告

#### 1 施設数

平成23年10月1日現在の病院数は54施設（精神科病院8施設、一般病院46施設）で、前年と変わらなかった。一般診療所は732施設で、前年に比べ14施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が7施設、無床が7施設それぞれ減少した。歯科診療所は282施設で、前年に比べ1施設減少した（表3-1）。

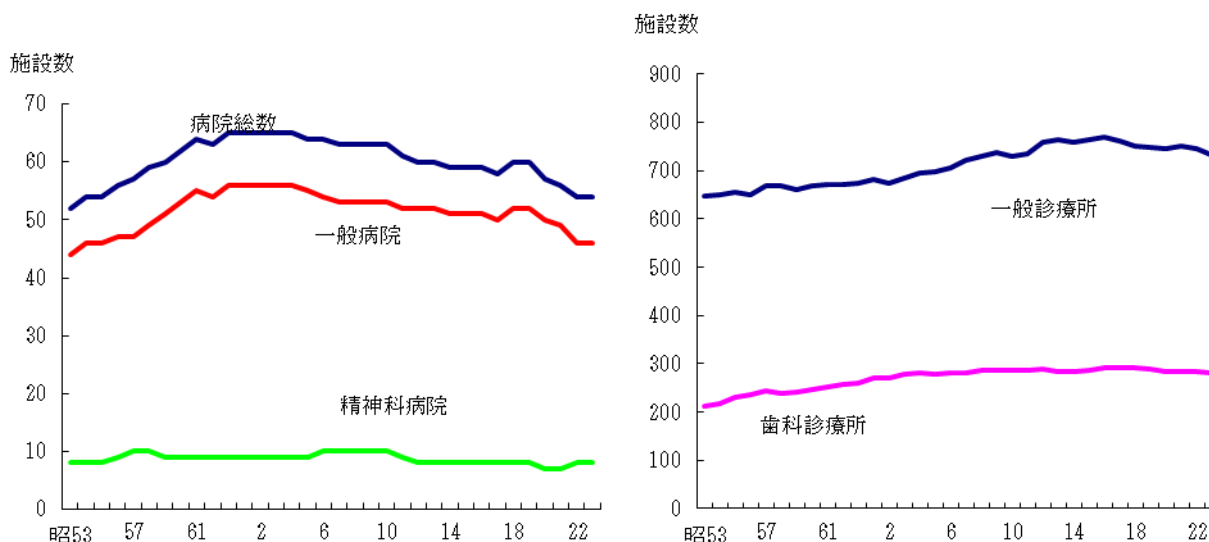
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合(%)	
	平成23年	平成22年	増減数	平成23年	平成22年
総数	1,068	1,083	△15	100.0	100.0
病院	54	54	-	5.1 (100.0)	5.0 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(14.8)	(14.8)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	46	46	-	(85.2)	85.2
一般診療所	732	746	△14	68.5 (100.0)	68.9 (100.0)
有床	60	67	△7	(8.2)	(9.0)
無床	672	679	△7	(91.8)	(91.0)
歯科診療所	282	283	△1	26.4	26.1

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

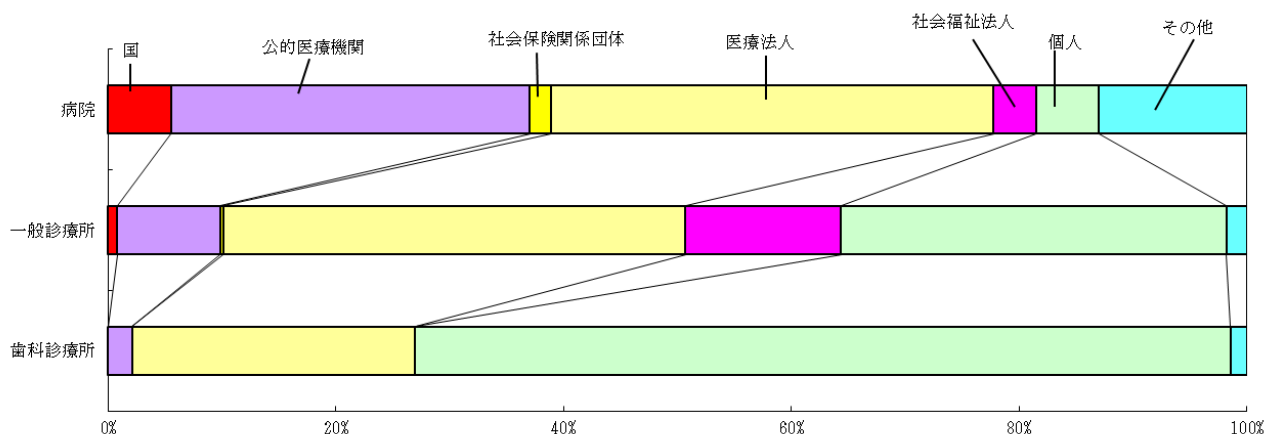
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の38.9%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の31.5%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成23年の状況は、医療法人が40.6%、個人が33.9%である。歯科診療所は大部分が個人で、71.6%を占めており、ついで医療法人が24.8%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合（%）



人口10万対施設数を前年と比べると、病院は0.1、一般診療所は1.2減少し、歯科診療所は0.2増加した。全国と比べると、病院は0.9、一般診療所は24.9高く、歯科診療所は13.7低くなっている（表3-2）。

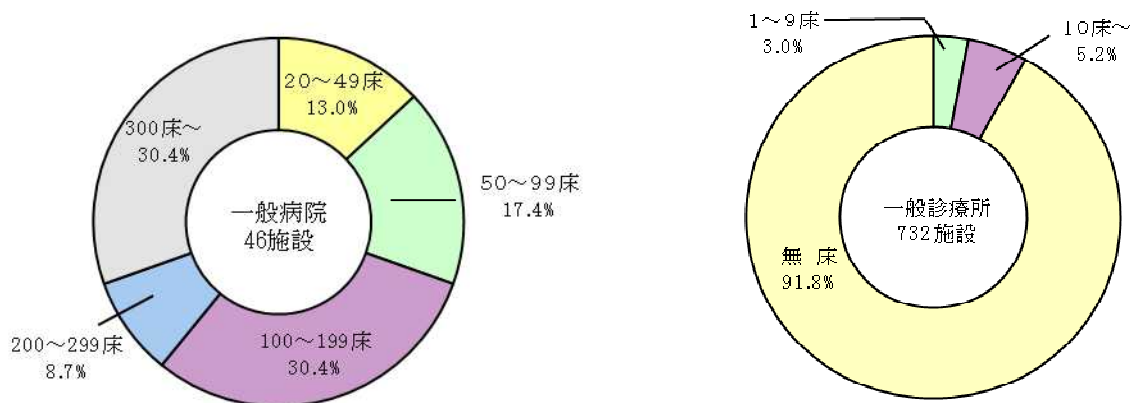
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	平成23年	平成22年	平成23年
病院	7.6	7.5	6.7
一般診療所	102.8	104.0	77.9
歯科診療所	39.6	39.4	53.3

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が13.0%、50~99床が17.4%、100~199床が30.4%、200~299床が8.7%、300床以上が30.4%であった。

一般診療所は1~9床が3.0%、10床以上が5.2%、残りの91.8%は無床である（図3-3）。

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



## 2 病床数

平成 23 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 57 床減少した。病床の種別にみると、精神病床が 53 床、感染症病床が 3 床増加し、一般病床が 4 床減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から 72 床減少した（表 3-3）。

表3-3 医療施設の種別による病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成23年	平成22年	増減数	平成23年	平成22年
総 数	12,131	12,260	△ 129	100	100
病 院	11,408	11,465	△ 57	94.0 (100.0)	93.5 (100.0)
精神病床	2,457	2,510	△ 53	(21.5)	(21.9)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	33	33	-	(0.3)	(0.3)
療養病床	2,298	2,298	-	(20.1)	(20.0)
一般病床	6,590	6,594	△ 4	(57.8)	(57.5)
一 般 診 療 所	723	795	△ 72	6.0	6.5
歯 科 診 療 所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 4.8 減少し、療養病床が 2.5、一般病床が 6.4 増加した。

また、一般診療所は前年より 9.3 減少した。

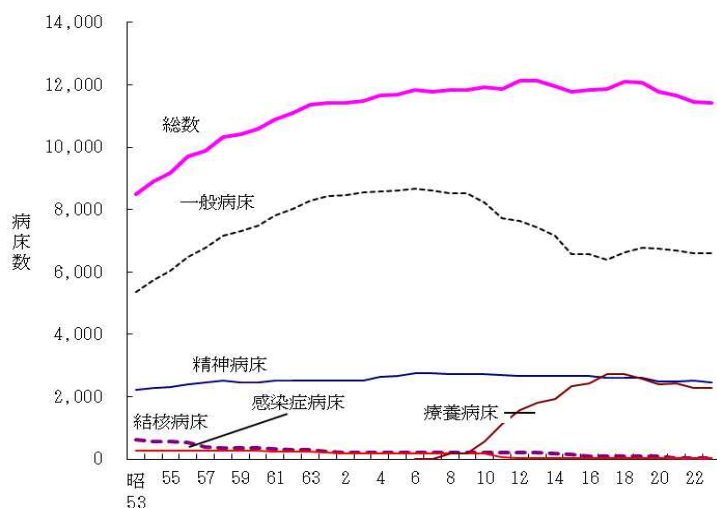
病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっており、一般診療所についても全国を上回っている（表 3-4）。

表3-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	平成23年	平成22年	平成23年
病 院	1,602.2	1,598.1	1,238.7
精神病床	345.1	349.9	269.2
感染症病床	4.2	4.2	1.4
結核病床	4.6	4.6	6.0
療養病床	322.8	320.3	258.3
一般病床	925.6	919.2	703.7
一 般 診 療 所	101.5	110.8	101.2

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年から平成 18 年の間、療養病床の増加に伴い減少した。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）

図 3-4 病床の種別による病院の病床数



注:1) 「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床(療養型病床群)をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群をのぞく)」である。

注:2) 「療養病床」は、平成 12 年までは「療養型病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

### 3 診療科目

県内 54 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 49 施設で、ついで整形外科が 36 施設、外科が 33 施設となっている。平成 22 年と比べると神経内科等 19 診療科目が増加し、産婦人科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 732 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 566 施設であり、ついで小児科が 186 施設、消化器内科（胃腸内科）が 141 施設、循環器内科が 107 施設となっている。平成 22 年と比べると、血液内科等 6 診療科目が増加し、外科等 27 診療科目が減少した。  
(表 3-5)

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成23年	平成22年	増減数	平成23年	平成22年	増減数
内科	49	48	1	566	577	△ 11
呼吸器内科	14	13	1	35	43	△ 8
循環器内科	22	21	1	97	104	△ 7
消化器内科（胃腸内科）	18	17	1	141	158	△ 17
腎臓内科	5	4	1	5	6	△ 1
神経内科	31	29	2	30	30	-
糖尿病内科（代謝内科）	4	3	1	11	13	△ 2
血液内科	3	2	1	2	1	1
皮膚科	24	22	2	50	64	△ 14
アレルギー科	2	2	-	30	38	△ 8
リウマチ科	3	4	△ 1	16	19	△ 3
感染症内科	-	-	・	1	5	△ 4
小児科	26	25	1	186	192	△ 6
精神科	23	23	-	46	52	△ 6
心療内科	6	4	2	31	31	-
外科	33	32	1	87	107	△ 20
呼吸器外科	8	6	2	-	1	△ 1
循環器外科（心臓・血管外科）	7	7	-	1	2	△ 1
乳腺外科	3	2	1	-	2	△ 2
気管食道外科	-	-	・	2	3	△ 1
消化器外科（胃腸外科）	2	2	-	5	5	-
泌尿器科	20	20	-	22	21	1
肛門外科	4	3	1	15	19	△ 4
脳神経外科	14	15	△ 1	8	7	1
整形外科	36	36	-	62	66	△ 4
形成外科	7	7	-	8	9	△ 1
美容外科	-	-	・	4	3	1
眼科	22	22	-	50	49	1
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	29	-
小児外科	2	1	1	2	4	△ 2
産婦人科	16	17	△ 1	17	18	△ 1
産科	2	2	-	2	1	1
婦人科	7	6	1	13	18	△ 5
リハビリテーション科	31	31	-	55	59	△ 4
放射線科	22	21	1	30	31	△ 1
麻酔科	20	20	-	14	16	△ 2
病理診断科	-	-	・	-	-	・
臨床検査科	1	-	1	-	-	・
救急科	1	2	△ 1	-	-	・
歯科	6	6	-	5	7	△ 2
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	11	11	-	-	-	・

#### 4 利用状況

平成23年の1日平均在院患者数は9,306人であり、前年から142人減少した。うち、精神科病院は20人、一般病院は123人減少した。1日平均新入院患者数は280人で前年から2人増加した。1日平均退院患者数は280人で、前年から2人増加した。1日平均外来患者数は7,677人で、前年から18人減少した（表3-6）。

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	平成23年	平成22年	増減数	平成23年	平成22年	増減数
病院総数	9,306	9,448	△142	280	278	2
精神科病院	1,622	1,642	△20	5	5	-
一般病院	7,684	7,807	△123	275	272	3
病床総数	9,306	9,448	△142	280	278	2
精神病床	2,229	2,260	△31	8	8	0
感染症病床	0	0	-	0	0	-
結核病床	7	9	△2	0	0	-
療養病床	1,971	2,052	△81	8	9	△1
一般病床	5,099	5,128	△29	263	260	3

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	平成23年	平成22年	増減数	平成23年	平成22年	増減数
病院総数	280	278	2	7,677	7,695	△18
精神科病院	5	5	-	408	407	1
一般病院	275	272	3	7,269	7,288	△19
病床総数	280	278	2	・	・	・
精神病床	9	9	-	・	・	・
感染症病床	0	0	-	・	・	・
結核病床	0	0	-	・	・	・
療養病床	12	11	1	・	・	・
一般病床	260	257	3	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成23年の病院の病床利用率は、総数が81.5%、精神病床が81.0%、療養病床が88.2%、一般病床が78.9%、結核病床が21.7%、感染症病床が0.1%であった。前年と比較すると、一般病床が上昇、その他の病床で下降している（図3-5）。

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

